

# 身体の武装解除を求める祈り

～アントワーヌ・ベシャンの名誉回復のために

平和を望まれる神よ、  
ご自分の似姿としてお与えくださったわたしたちの身体を、  
戦場にしてしまった人類の愚かさをあわれんでください。  
すべてが善であるようにつくられた被造物のうちに、  
悪が存在すると見誤ってしまった人類の過ちをおゆるしくください。

神が、病原体という目に見えない外敵をおつくりになったのでしょうか。  
わたしたちの身体に抗体という武装手段をお与えになったのでしょうか。  
愛する隣人を知らずに傷つける感染という罠を仕掛けられたのでしょうか。

今わたしたちは、祈りのうちに神のみわざの偉大さを思い起こします。

現代の科学は、御摂理に背を向けて資本の欲望のままに走りつづけました。  
唯一の神に代わって、自らが作りだした悪を自らが裁く神になりました。

かけがえのない一つひとつの身体が虚しい戦争状態をやめない限り、  
地上に平和がもたらされることはありません。  
神の国の実現はありません。

すべての被造物が調和のうちに存在する真理を悟る知恵をお与えください。  
たたかいともあらずとも無縁な自然体を取り戻す勇気をお与えください。  
平和のいしずえとして据えられたわたしたち一人ひとりの身体が、  
永遠のいのちにつながる健康を二度と見失うことがありませんように。

神の子の身体を宿し、真に産み落とし、守り育てた聖母の取次ぎによって。  
アーメン

※案文：いのちのマーチ実行委員会（2023年10月）

